消　防　団

消防団の沿革

明治２２年　４月	貝塚町消防組発足（町制施行により）
明治２３年	島村消防組発足
大正　元年	麻生郷村・木島村消防組発足
大正　７年	西葛城村消防組発足
大正１２年	南近義村消防組発足・北近義村消防組発足
昭和　６年　４月	貝塚町・麻生郷村・島村・南近義村・北近義村が合併、貝塚町となる
昭和　７年　７月	大阪府令第４９号により、新たに貝塚町消防組を次の通り編成 第１部　２５人　第４部　２５人 第２部　２５人　第５部　２５人 第３部　２５人
昭和１０年　４月	木島村編入に伴い２部増設７部となる
昭和１２年	１部増設し８部となる　１部１５人とし、計１２０人とした
昭和１４年	貝塚町消防組に西葛城村消防組編入
昭和１４年　４月	警防団令発令により貝塚町消防組廃止、貝塚警防団を次の通り結成 第１分団　北校区　第２分団　東校区 第３分団　南校区　第４分団　西校区 第５分団　木島校区　第６分団　葛城・蕎原校区
昭和２２年　４月	勅令第１８５号により貝塚警防団を廃止し貝塚市消防団発足 （６個分団８個班を編成、定数２１５人）
昭和２２年　９月	貝塚市消防団設置条例制定 消防団員定数３６２人
昭和２３年　３月	第２分団の手曳ガソリン班を第７分団（麻生中）、第５分団の手曳ガソリン班を第８分団（三ツ松）として分設
昭和２７年　７月	第９分団（津田）増設
昭和３０年　３月	大阪府知事より表彰旗を受章
昭和３２年　２月	日本消防協会長より表彰旗を受章
昭和３３年　３月	国家消防本部長より竿頭綬を受章
昭和３８年１０月	第７回大阪府消防操法訓練大会ポンプ車操法の部で第６分団優勝
昭和３９年　３月	消防庁長官より表彰旗を受章
昭和５４年１０月	第２３回大阪府消防操法訓練大会ポンプ車操法の部で第５分団第３位
昭和５６年　３月	消防団員定数を２５０人に条例改正
昭和５８年　２月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
平成　２年　９月	第３４回大阪府消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部で第３分団第２位
平成　３年　３月	大阪府消防協会長より表彰旗を受章
平成　５年　３月	大阪府知事より表彰旗を受章
平成　７年　３月	大阪府消防協会長より竿頭綬を受章
平成　８年　２月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
平成１４年　２月	日本消防協会長より表彰旗を受章
平成１６年　９月	第４８回大阪府消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部で第８分団第３位
平成２１年　７月	「大阪の消防大賞」受賞

平成２５年　２月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
平成２８年　３月	消防庁長官より竿頭綬を受章
平成２８年　７月	「大阪の消防大賞」受賞

１　消防団主要行事

行事	主催	場所	備考
消防出初式	貝塚市	コスモスシアター前庭	
文化財防火デーに伴う消防訓練	貝塚市	願泉寺	
大阪府消防表彰式	大阪府・大阪府消防協会	大阪市 エル・おおさか	※
岸和田市・貝塚市山間部合同消防訓練	貝塚市	和泉葛城山山頂	※
貝塚市新任団員講習会	貝塚市消防団	消防本部	※
貝塚市幹部団員教育訓練	貝塚市消防団	消防本部	※
消防団員教育訓練「基礎教育」	大阪府消防協会	大阪府立消防学校	
消防団員教育訓練「幹部科」	大阪府消防協会	大阪府立消防学校	※
消防団員特別教育訓練「機関科」	大阪府消防協会	大阪府立消防学校	※
大阪府消防協会泉南地区支部総合訓練	大阪府消防協会泉南地区支部	熊取町	※
大阪府消防大会及び消防操法訓練大会	大阪府・大阪府消防協会	大阪府立消防学校	※
防災・安全フィールドワークキャラバン in 泉南	大阪府消防協会泉南地区支部	泉南市	※
貝塚市総合防災訓練	貝塚市	せんごくの杜防災広場	
歳末火災特別警戒	貝塚市	市内全域	

※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止。

２　消防団員階級別定員と実員配置

（令和２年１２月３１日現在）

階級別／人員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
消防団本部	1	4			1	1		7
第１分団			1	1	1	3	１７	２３
第２分団			1	1	1	3	１６	２２
第３分団			1	1	1	3	１９	２５
第４分団			1	1	1	3	１６	２２
第５分団			1	1	1	3	１９	２５
第６分団			1	1	1	5	２６	３４
第７分団			1	1	1	3	１７	２３
第８分団			1	1	1	3	２０	２６
第９分団			1	1	1	3	１１	１７
計	1	4	9	9	１０	３０	１６１	２２４
定員	1	4	9	9	１０	３０	１８７	２５０

３　消防団員の勤続年数

（令和２年１２月３１日現在）

年数 分団名	５年 未満	５年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年 以上	平均
消防団本部	２						５	２５.５
第１分団	２	２	５	５	２	１	６	１８.９
第２分団	７	５	３	３	２	２		１０.７
第３分団	９	３	２	５	４	２		１２.２
第４分団	３	７	５	５	１	１		１１.２
第５分団	９	６	４	６				８.５
第６分団	６	４	１２	９	３			１１.７
第７分団	２	４	７	３	３	３	１	１４.９
第８分団	６	４	５	８	２		１	１１.６
第９分団	２	３	４	５	２	１		１３.２
計	４８	３８	４７	４９	１９	１０	１３	１２.８

４　消防団員の年齢状況

（令和２年１２月３１日現在）

年齢 分団名	18歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳 以上	平均
消防団本部					３	４	６２.８
第１分団			４	５	８	６	５１.８
第２分団		１０		１１	１		３６.１
第３分団		２	１０	８	５		４１.９
第４分団		３	８	１１			３９.９
第５分団			１３	８	４		４１.９
第６分団			１０	２３	１		４２.９
第７分団		１	９	６	７		４３.２
第８分団			５	１７	３	１	４５.８
第９分団			５	７	５		４５.１
計		１６	６４	９６	３７	１１	４３.８

５　消防団機械器具配置状況

分　団　名	車　両　番　号 小型ポンプ品番	社　　名	年　式	型式及びポンプ性能
第１分団	和 泉 802 た 1000 Ｐ　３　８　３　型	日　　野 ラビットポンプ	Ｈ２４ Ｈ２４	ＣＤ－１ Ｃ－１級
第２分団	和 泉 800 ね 2000 Ｐ　３　８　２　型	ミ　ツ　ビ　シ ラビットポンプ	Ｈ１９ Ｈ１９	ＣＤ－１ Ｃ－１級
第３分団	和 泉 800 と 3000 Ｖ　２　０　Ｅ　型	ミ　ツ　ビ　シ トーハツポンプ	Ｈ１８ Ｈ１８	ＣＤ－１ Ｃ－１級
第４分団	和 泉 830 す 4000 Ｐ　３　８　３　型	日　　野 ラビットポンプ	Ｈ２５ Ｈ２５	ＣＤ－１ Ｃ－１級
第５分団	和 泉 800 に 5000 Ｐ　３　８　２　型	日　　野 ラビットポンプ	Ｈ２１ Ｈ２１	ＣＤ－１ Ｃ－１級
第６分団	和 泉 830 と 6000 Ｐ　３　８　２　型	ミ　ツ　ビ　シ ラビットポンプ	Ｈ１９ Ｈ１９	ＣＤ－１ Ｃ－１級
第７分団	和泉 800 の 7000 Ｐ　３　８　３　型	日　　野 ラビットポンプ	Ｈ２３ Ｈ２３	ＣＤ－１ Ｃ－１級
第８分団	和泉 802 と 8000 ＦＴ３００型	日　　野 シ バ ウ ラ	Ｈ２９ Ｈ２９	ＣＤ－１ Ｃ－１級
第９分団	和泉 830 な 9000 ＦＴ３００型	ト　ヨ　タ シ バ ウ ラ	Ｒ　２ Ｒ　２	ＣＤ－１ Ｃ－１級

６　消防団員報酬及び費用弁償

区　　分	報　酬　年　額
団　　長	１０６，０００円
副　団　長	７４，０００円
分　団　長	５９，０００円
副 分 団 長	４３，０００円
部　　長	３８，０００円
班　　長	３３，０００円
団　　員	２８，０００円
災害・訓練・警戒等出動	１回につき ２，７００円

７　消防団員出動状況

種　　別	延　人　員
火災・その他災害出動	２８６人
歳末火災特別警戒出動	４４６人
訓練参加（定例・その他）	２，６４８人
計	３，３８０人

８　表彰

消防庁長官表彰	永年勤続功労章	1
日本消防協会長表彰	功績章	1
	勤続章	1
大阪府知事表彰	消防勤続功労章	1
	消防功労章	4
	銀杯	１０
大阪府消防協会長表彰	永年勤続章	1
	勤続章	8
	勤功章	5
	精勤章	4
	木杯	１１
大阪府消防協会泉南地区支部長表彰	消防功労者表彰	7
貝塚市消防団長表彰	団長記章	１９
	精勤章	１９
	感謝状	１１